

お困りごと発表会

少子高齢化への急速な進行を背景に、介護ロボット機器への期待も高まっています。

介護現場での介護ロボットは徐々に普及し始めていますが、現場で本当に必要とされる機器（ニーズを踏襲した機器）が豊富にない状況です。そのため、現場課題を踏まえた新商品の開発が求められています。

しかしながら、医療・介護分野と接点のない開発企業は、介護現場のニーズを収集する場が少ないことや、介護ロボット特有（障害を持たれた方への仕様）の開発手順を知らないことが課題です。

介護現場で有効な製品の開発につなげることを支援するため、これまでのお困りごと発表会では、介護現場のニーズ発信を中心に行ってきました。この度は開発者側の視点から、介護ロボット特有（障害を持たれた方への仕様）の開発手順や point を報告します。

介護現場で有効な介護ロボットの開発を支援するため、介護分野への参入、機器の開発・実用化をめざす企業を対象に、有益な情報を発信いたします。どうぞご参加ください。



～プログラム～

13:00～	受付開始	
13:30～	開会挨拶	兵庫県立福祉のまちづくり研究所 所長 陳 隆明
13:35～	介護ロボット評価で困らないために ～評価の準備と実践の手引き～	産業技術総合研究所 梶谷 勇 氏
14:00～	ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センターの開発支援	兵庫県立福祉のまちづくり研究所 次長 赤澤 康史
14:15～	排泄動作支援機器(SATOILET)の開発から製品化までの進め方	株式会社がまかつ 桑原 博 氏
14:55～	休 憩	
15:05～	移乗支援機器(J-PAS fleairy ジェイパス フレアリー)の開発から製品化、実証評価の進め方	株式会社ジェイテクト 新井 智樹 氏
15:45～	質疑応答	
16:00	閉 会	

お問い合わせ

〒651-2181 兵庫県神戸市西区曙町1070

兵庫県立福祉のまちづくり研究所

ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センター

Mail : robo-shien@assistech.hwc.or.jp